平成２７年度　　事務事業評価シート

章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち
節	2	自然を活かした産業の育成
施策	I	特色ある農業・漁業の推進
目標		観光産業と連携した特色ある農業・漁業を推進する。

	指標名	単位	基準値 H16	中間値 H21	実績値 H22	実績値 H23	実績値 H24	実績値 H25	実績値 H26	実績値 H27	目標値 H27
指標①	肉用牛等飼養数	頭	1,683	2,625	2,447	2,454	2,567	2,564	2,490		2,256
指標②	ほ場整備面積	ha	328.1	395.9	395.9	395.9	395.9	395.9	395.9		583
指標③	登別漁港水揚量	t	9,972	15,745	12,285	13,611	10,666	13,870	13,214		15,000
指標④	登別漁港係船岸壁充足率	%	30.0	30.0	30.0	30.0	36.0	36.0	36		47.0
指標⑤	農村地区の水洗化率	%	4.5	17.6	17.9	33.1	33.1	33.1	33.1		34.0

施策コード	施策の基本的な方向	主要な施策	具体的な内容
1-①	1　高付加価値農水産業の展開	①　地場農水産物による加工研究開発の支援	・地場農水産物を利用した加工品の研究開発及び販売促進を支援します。
2-①	2　食の安全・安心の促進	①　新鮮でクリーンな農水産物供給の推進	・安全・安心な農産物を生産するクリーン農業の普及や高度衛生管理型漁港の整備を促進し、安全性が高く、品質の良い農水産物の供給を図ります。
2-②	2　食の安全・安心の促進	②　地産地消の推進	・地場農水産物に関する情報を市民や食品提供業者に発信し、地産食材の消費拡大を図ります。 ・地域の宿泊施設等での地場産品の利用促進に向けた取組を支援します。
3-①	3　ゆとりある酪農・畜産経営の促進	①　新規就農者、担い手農業者への支援	・情報化や高度技術化する農業に対応できる人材を育成・確保するなど、新規就農者や担い手農業者への取組を支援します。 ・ゆとりある酪農・畜産経営の安定化に向け、酪農ヘルパー事業や市牧場への預託放牧などを促進し、労働軽減などを通じた省力化を進めます。
3-②	3　ゆとりある酪農・畜産経営の促進	②　畜産生産基盤の整備	・飼料基盤や家畜飼養管理施設などの畜産生産基盤の整備を促進します。 ・農道や農地保全施設の整備を図ります。
3-③	3　ゆとりある酪農・畜産経営の促進	③　家畜排せつ物の適正管理と有効利用	・畜産公害を防ぐため、家畜排せつ物を適正管理し、有機物資源としての有効活用を図ります。
4-①	4　都市生活者・他産業従事者との交流促進	①　グリーンツーリズム（農村との交流を楽しむ余暇活動）の推進	・観光と連携させた農産物加工、農業体験に取組むなど、都市生活者との交流により農業への理解を深めるとともに、地域の活性化を図ります。
4-②	4　都市生活者・他産業従事者との交流促進	②　マリンツーリズム（漁村との交流を楽しむ余暇活動）の推進	・観光と連携させたマリンレジャーや水産物販売のイベントを開催するなど、都市生活者との交流により水産業への理解を深めるとともに、地域の活性化を図ります。
5-①	5　時代に即した漁業生産の基盤づくり	①　資源管理型及び衛生管理型の漁業の推進	・漁業経営の安定と所得向上を図るため、資源の適正管理とつくり育てる漁業を推進します。 ・衛生管理対策の強化による水産物の高付加価値化を推進し、漁家所得の向上を図ります。
5-②	5　時代に即した漁業生産の基盤づくり	②　漁業経営の改善	・各種栽培事業、放流事業や漁船・漁具購入資金利子補給事業等に支援し、経営の安定と所得向上を図ります。
5-③	5　時代に即した漁業生産の基盤づくり	③　漁港の整備促進	・鷲別漁港については、漂砂対策と港内静穏度の向上を図るため、施設整備を促進します。 ・登別漁港については、高度衛生管理型の対応を完備し、水産物の産地直売など都市交流型の水産業を目指した多目的な利用ができる漁港としての整備を促進します。

Plan ・ Do

NO	施策	事業名【事務事業コード】	部名及びグループ名		開始年度	終了年度	事業区分	会計種別	事業概要：事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業の場合は、施設名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、要綱等	事業の成果、目標：指標名	単位	H25 実績	H26 実績	H27 目標	H28 目標	H29 目標	H30 目標
1	1-①	札内高原館運営管理経費	観光経済部	農林水産G	H18	－	ソフト	一般会計	地場農産物を活用した体験学習を提供することにより、体験型の特色ある農業の創出を図ることを目的とする。	H25	（株）のぼりべつ酪農館	運営管理を指定管理者に委託し、農畜産物の加工体験メニューを提供するほか、体育館等を札内地区のコミュニティの場として開放した。 【指定管理期間】 平成24年４月１日～平成27年３月31日	登別市札内高原館条例、登別市札内高原館条例施行規則、登別市札内高原館に関する協定書	札内高原館利用実績	人	交流室300 体育館2202 体験学習247 グラウンド100	交流室294 体育館2214 体験学習212 グラウンド174	交流室450 体育館2200 体験学習400 グラウンド100	交流室450 体育館2200 体験学習400 グラウンド100	交流室450 体育館2200 体験学習400 グラウンド100	交流室450 体育館2200 体験学習400 グラウンド100
										H26	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり								
										H27	上記のとおり	上記のとおり 【指定管理期間】継続 平成27年４月１日～平成30年３月31日	上記のとおり	－	－	－	－	－	－	－	－
		32111002																			
2	2-①	胆振西部乳牛検定組合補助金	観光経済部	農林水産G	H10	－	ソフト	一般会計	乳質改善に取組む団体の活動を支援することにより、乳質及び生産乳量の向上を図ることを目的とする。	H25	胆振西部乳牛検定組合	乳牛能力検定事業を実施する胆振西部乳牛検定組合に対して、運営費の一部を補助した。 ・市内酪農家検定実施戸数：６戸	登別市農林業等振興補助金交付要綱	1頭当たり生産乳量	kg	8,397	8,590	9,000	9,000	9,000	9,000
										H26	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり								
										H27	上記のとおり	上記のとおり実施予定	上記のとおり	－	－	－	－	－	－	－	－
		32121003																			

各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案 【 単位 ： 千円 】

NO	名称		H25 決算	H26 決算	H27 予算	H28 予算案	H29 予算案	H30 予算案
1	国庫支出金							
	道支出金							
	地方債							
	その他	行政財産使用料	2,959	2,959	1,628	1,628	1,628	1,628
	一般財源		2,232	2,681	4,370	4,370	4,370	4,370
	合　計		5,191	5,640	5,998	5,998	5,998	5,998
2	国庫支出金							
	道支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源		429	429	429	429	429	429
	合　計		429	429	429	429	429	429

Check

NO	第2期基本計画第3次実施計画期間中（H24～H27）における事業内容の変更・改善等の状況		評価	評価の判断理由、特記事項など（妥当性、有効性、効率性、成果）
1	H25以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	事業の実施により、市民がコミュニティ施設を利用し交流が図られるとともに、体験学習では市民や観光客が農業への理解を深められ、地場農産物の宣伝と販売促進が図られていることから、今後も事業を継続することが相当である。
	H26	上記のとおり		
	H27	上記のとおり		
2	H25以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	生産者が乳牛検定成績を活用することにより、乳質の向上と生産乳量の高い優良牛が確保され、酪農経営における生産性の向上が図られていることから、今後も事業を継続することが相当である。
	H26	上記のとおり		
	H27	上記のとおり		

Action

NO	今後の事業の方向性【H28以降】
1	体験学習やコミュニティ施設の利用促進に向け、引き続き指定管理者と連携し、札内高原館の運営に取り組んでいく。
2	今後も検定成績を活用することで、乳質の向上と生産乳量の高い優良牛の確保を図っていく。

NO	施策	事業名【事務事業コード】	部名及びグループ名		開始年度	終了年度	事業区分	会計種別	Plan ・ Do 事業概要 事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業の場合は、施設名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、要綱等	事業の成果、目標 指標名	単位	H25 実績	H26 実績	H27 目標	H28 目標	H29 目標	H30 目標	各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案 【 単位 ： 千円 】 名称		H25 決算	H26 決算	H27 予算	H28 予算案	H29 予算案	H30 予算案	Check 第2期基本計画第3次実施計画期間中（H24～H27）における事業内容の変更・改善等の状況		評価	評価の判断理由、特記事項など（妥当性、有効性、効率性、成果）	Action 今後の事業の方向性【H28以降】
3	2-①	黒毛和種受精卵移植事業補助金	観光経済部	農林水産G	H25	H27	ソフト	一般会計	黒毛和種繁殖雌牛の高齢化及び血統の均一化を防ぎ、肉質の向上を図ることにより、黒毛和種繁殖農家の経営の安定化を図ること目的とする。	H25	伊達市農業協同組合	伊達市農業協同組合に対して、繁殖雌牛への優良血統受精卵の移植に要する経費の一部を補助した。	登別市農林業等振興補助金交付要綱	受精卵移植頭数	頭	9	8	15	－	－	－	国庫支出金								H25以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	終了	事業の実施により、一定の成果が得られたことから、今後は生産者自らが取り組むこととし、今年度をもって支援を終了する。	平成27年度をもって事業終了とする。
																						道支出金													
										H26	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり									地方債								H26	上記のとおり				
														－	－	－	－	－	－	－	－	その他													
										H27	上記のとおり	上記のとおり実施予定	上記のとおり									一般財源		152	153	300				H27	上記のとおり				
		32121004																				合 計		152	153	300	0	0	0						
4	2-①	乳用牛後続雌牛促進事業補助金	観光経済部	農林水産G	H25	H27	ソフト	一般会計	搾乳牛後続雌牛の確保を図ることにより、生産乳量の向上と酪農家の経営の安定化を図ること目的とする。	H25	伊達市農業協同組合	伊達市農業協同組合に対して、雌雄判別精液に要する経費の一部を補助した。	登別市農林業等振興補助金交付要綱	授精頭数	頭	35	40	50				国庫支出金								H25以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	終了	事業の実施により、一定の成果が得られたことから、今後は生産者自らが取り組むこととし、今年度をもって支援を終了する。	平成27年度をもって事業終了とする。
																						道支出金													
										H26	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり									地方債								H26	上記のとおり				
														－	－	－	－	－	－	－	－	その他													
										H27	上記のとおり	上記のとおり実施予定	上記のとおり									一般財源		70	78	100				H27	上記のとおり				
		32121005																				合 計		70	78	100	0	0	0						
5	2-②	登別産一次産品普及促進事業	観光経済部	農林水産G	H26	H26	ソフト	一般会計	平成26年に初出荷される登別産エゾアワビ及びエゾシカ肉について、生産者と使用者を結びつけ、市内での流通を生み出すことにより、地産地消の推進とブランド化に向けた機運を醸成することを目的とする。	H25	－	－	－	エゾアワビ提供施設数	施設		13					国庫支出金								H25以前	－	終了	平成27年度より、エゾシカ肉に対する普及促進を行うこととした。	平成27年度で事業終了。
																						道支出金													
										H26	市民及び市内温泉宿泊施設	登別産エゾアワビを活用する意欲のある市内温泉宿泊施設を対象にエゾアワビを無償提供し、試食及びアンケート調査を実施した。 また、市内で開催されるイベント等において、エゾシカ肉の振る舞いを実施しＰＲを図るとともに、市内飲食店を対象としたエゾシカ肉の調理方法に関する講習会を実施した。	－									地方債								H26	平成27年度より、エゾシカ肉に対する普及促進を行うこととした。			
																						その他													
										H27	－	－	－	エゾシカ肉振る舞い回数	回		7					一般財源			466					H27	－				
		32122003																				合 計		0	466	0	0	0	0						
6	3-①	中山間地域等直接支払交付金	観光経済部	農林水産G	H12	－	ソフト	一般会計	農業生産条件が不利な中山間地域の耕作放棄地の発生を防止し、農地の多面的機能を確保することを目的とする。	H25	集落	中山間地域等直接支払交付金事業を実施し、市牧場を利用する農業者で構成する集落（団体）に対して交付金を交付した。 【事業実績】 草地の維持管理活動、雨水による草地流亡補修、家畜伝染病蔓延防止対策 ・交付対象：集落１箇所 ・対象農用地：登別市牧場：45.12ha ・補助率：国費50%、道費：25%、市負担：25%	北海道中山間地域等直接支払交付金実施要領	放牧家畜予防接種	頭	98	100	95	95	95	95	国庫支出金	中山間地域等直接支払交付金	885	885	885	885	885	885	H25以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	事業の実施により、中山間地域における耕作放棄地の発生防止や農地の多面的機能の確保が図られており、今後も事業を継続することが相当である。	集落協定に基づく急傾斜農地保全のための活動に対して、引き続き国や道とともに支援していく。
																						道支出金	中山間地域等直接支払交付金	442	442	442	442	442	442						
										H26	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり									地方債								H26	上記のとおり				
														雨水による通路等のガレ補修	箇所	1	1	1	1	1	1	その他													
										H27	上記のとおり	上記のとおり実施予定	上記のとおり									一般財源		443	443	443	443	443	443	H27	上記のとおり				
		32131001																				合 計		1,770	1,770	1,770	1,770	1,770	1,770						
7	3-①	有害鳥獣駆除経費	観光経済部	農林水産G	H11	－	ソフト	一般会計	有害鳥獣による農林業及び生活環境被害を防止し、農林業の振興及び市民生活の維持を図ることを目的とする。	H25	一般社団法人北海道猟友会室蘭支部	市民からの被害及び苦情相談に基づき銃器やわなにより有害鳥獣の駆除を行った。 ・駆除鳥獣：エゾシカ、アライグマ、キツネ、カラス、タヌキ ・事業期間：通年		駆除頭（羽）数	頭（羽）	エゾシカ 151 アライグマ 71 キツネ12 カラス 105 タヌキ41 合計380	エゾシカ 191 アライグマ 117 キツネ12 カラス 136 タヌキ13 合計469	エゾシカ 155 アライグマ 140 キツネ15 カラス 110 タヌキ50 合計470	エゾシカ 160 アライグマ 140 キツネ15 カラス 110 タヌキ20 合計445	エゾシカ 160 アライグマ 140 キツネ15 カラス 110 タヌキ20 合計445	エゾシカ 160 アライグマ 140 キツネ15 カラス 110 タヌキ20 合計445	国庫支出金								H25以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	農林業被害や生活環境被害を最小限に食い止めるには、被害相談に迅速に対応し、有害鳥獣を駆除する必要があり、今後も事業を継続することが相当である。	市民からの被害相談に対応するほか、有害鳥獣の駆除数を増やし、個体数の適正化を図るなど、引き続き被害の防止に努めていく。
																						道支出金	北海道権限委譲事務交付金 地域づくり総合交付金	320	556	396	396	396	396						
										H26	上記のとおり	上記のとおり										地方債								H26	上記のとおり				
														－	－	－	－	－	－	－	－	その他													
										H27	上記のとおり	上記のとおり										一般財源		2,457	2,818	3,052	3,052	3,052	3,052	H27	上記のとおり				
		32131003																				合 計		2,777	3,374	3,448	3,448	3,448	3,448						

NO	施策	事業名【事務事業コード】	部名及びグループ名		開始年度	終了年度	事業区分	会計種別	Plan ・ Do 事業概要 事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業の場合は、施設名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、要綱等	事業の成果、目標 指標名	単位	H25実績	H26実績	H27目標	H28目標	H29目標	H30目標	各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案 【 単位 ： 千円 】 名称	H25決算	H26決算	H27予算	H28予算案	H29予算案	H30予算案	Check 第2期基本計画第3次実施計画期間中（H24～H27）における事業内容の変更・改善等の状況		評価	評価の判断理由、特記事項など（妥当性、有効性、効率性、成果）	Action 今後の事業の方向性【H28以降】
8	3-①	酪農ヘルパー事業補助金	観光経済部	農林水産G	H10	－	ソフト	一般会計	酪農ヘルパーの普及に取り組む団体を支援することにより、畜産経営の安定化と畜産農家の生活環境の改善を図ることを目的とする。	H25	伊達市酪農ヘルパー利用組合	酪農ヘルパー事業の普及、ヘルパー要員の研修・確保を行う伊達市酪農ヘルパー利用組合に対して運営費の一部を補助した。 ・加入農家数：９戸	登別市農林業等振興補助金交付要綱	ヘルパー利用回数	回	258	217	230	230	230	230	国庫支出金							H25以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	ヘルパーの利用により、病気やケガへの対応や定期的な休暇の取得が図られ、畜産経営の安定化と生活環境の改善が図らていることから、今後も事業を継続することが相当である。	今後も、酪農ヘルパーの利用を促進することにより、定期的休暇の取得を図り、畜産経営の進展を目指していく。
																						道支出金												
										H26	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり									地方債							H26	上記のとおり				
														－	－	－	－	－	－	－	－	その他												
										H27	上記のとおり	上記のとおり実施予定 ・加入農家数：１０戸（新規加入１戸）	上記のとおり								一般財源		336	451	608	650	650	650	H27	上記のとおり				
		32131008																				合 計		336	451	608	650	650	650					
9	3-①	農地有効利用システム更新事業	観光経済部	農林水産G	H26	H26	ソフト	一般会計	農地有効利用システム等のデータ更新を行うことにより、情報の有効活用と農用地等の適切な管理を推進することを目的とする。	H25	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	国庫支出金							H25以前		休止	平成26年度において、各システムにおけるオルソ画像データ・林班図データ・地番図形データ・地番属性データの更新は完了したが、定期的に更新する必要があるため、次回更新までの間事業を休止とする。。 ※次回は平成29年度予定	次回更新時期の平成29年度まで休止
																						道支出金												
										H26	職員	農地有効利用システム、森林資源情報システム及び農業振興地理情報システムについて、オルソ画像データ・林班図データ・地番図形データ・地番属性データの更新を行った。	－								地方債							H26	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。				
														－	－	－	－	－	－	－	－	その他												
										H27	－	－	－									一般財源			1,583			1,583		H27				
		32131010																				合 計		0	1,583	0	0	1,583	0					
10	3-①	登別市青年就農給付金事業（経営開始型）	観光経済部	農林水産G	H24	－	ソフト	一般会計	一定の条件に該当する青年就農者を支援することにより、農業後継者の確保を図ることを目的とする。	H25	一定の条件に該当する青年就農者	地域の農業者等の協議により策定した「人・農地プラン」において中心経営体と位置付けられた新規青年就農者に対して、国の制度を活用し、給付金を給付した。 【給付対象】 ・給付対象者：平成20年４月以降に農業経営を開始した45歳未満の者（単独で自営就農する者に限る） ・所得基準：所得が250万円未満の者　他 ・給付期間：経営が安定するまでの間（最長５年）	北海道青年就農給付金事業実施要領、登別市青年就農給付金事業（経営開始型）給付要領	給付対象者	人	1	1	1	1	1	1	国庫支出金							H25以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	本事業は、平成27年度をもって終了を予定していたが、平成28年度からの就農に関する相談があり、引き続き青年就農者を支援することが必要である。	給付金の給付を行うことにより、新規青年就農者の確保と定着を図っていく。
																						道支出金	北海道青年就農給付金事業補助金	1,500	1,500	750	1,500	1,500	1,500					
										H26	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり									地方債							H26	上記のとおり				
														－	－	－	－	－	－	－	－	その他												
										H27	上記のとおり	上記のとおり実施予定	上記のとおり									一般財源							H27	上記のとおり				
		32131014																				合 計		1,500	1,500	750	1,500	1,500	1,500					
11	3-①	農業経営体育成支援事業	観光経済部	農林水産G	H25	－	ソフト	一般会計	国で推進している「人・農地プラン」に、中心となる経営体と位置付けられた経営体を支援することにより、農業経営の発展や改善を目的とする。	H25	人・農地プランに中心となる経営体と位置付けられた市内農業者等	「人・農地プラン」に中心となる経営体として位置付けられた農業者等が金融機関からの融資を活用し、農業用機械や施設を取得する際に、取得価格の一部を助成する。	経営体育成支援事業実施要綱	活用経営体数	経営体	0	0	0				国庫支出金							H25以前	当初、2経営体が活用を予定していたが、他事業の活用や、導入自体を見合わせたことから、当事業の実施を見合わせた。	休止	当事業は市内農業者に対して事業活用の意向を調査し、その結果に基づき行われるため、不定期に実施される事業である。	国が行う当事業が継続される間は左記の手法により意向調査等を継続していく。
																						道支出金	農業経営体育成支援事業補助金	0	0	0	0	0						
										H26	－	－	－									地方債							H26	－				
														－	－	－	－	－	－	－	－	その他												
										H27	－	－	－									一般財源							H27	－				
		32131015																				合 計		0	0	0	0	0	0					
12	3-①	鳥獣被害防止緊急捕獲等対策事業補助金	観光経済部	農林水産G	H25	H27	ソフト	一般会計	有害鳥獣の捕獲者に捕獲意欲の拡大を図ることで、鳥獣の個体数調整及び担い手対策を図ることを目的とする。	H25	登別市有害鳥獣捕獲従事者	登別市が策定した緊急捕獲等計画に基づき有害鳥獣を捕獲した捕獲者に対し、国の予算の範囲内で補助金を交付した。 【補助事業の内容】 ・事業期間：平成25年度～平成27年度 ・補助対象鳥獣 エゾシカ、アライグマ、キツネ、カラス、タヌキ	鳥獣被害防止緊急捕獲等対策事業促進交付金交付要綱、鳥獣被害防止緊急捕獲等対策実施要綱、鳥獣被害防止緊急捕獲等対策実施要領、鳥獣被害防止緊急捕獲等対策事業に係る業務方法	補助対象駆除頭（羽）数	頭（羽）	エゾシカ134 アライグマ70 キツネ11 カラス82 タヌキ41 合計338	エゾシカ145 アライグマ117 キツネ11 カラス100 タヌキ30 合計386	エゾシカ150 アライグマ140 キツネ11 カラス100 タヌキ30 合計431				国庫支出金							H25以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	終了	本事業について、国は事業期間を平成27年度までとしていることから、平成27年度をもって本事業を終了する。	国は事業期間を平成27年度までとしていることから、平成27年度をもって本事業を終了する。
																						道支出金												
										H26	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり									地方債							H26	上記のとおり				
														－	－	－	－	－	－	－	－	その他	鳥獣被害防止緊急捕獲等対策補助金	1,211	959	951								
										H27	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり									一般財源							H27	上記のとおり				
		32131016																				合 計		1,211	959	951	0	0	0					

NO	施策	事業名【事務事業コード】	部名及びグループ名		開始年度	終了年度	事業区分	会計種別	Plan ・ Do 事業概要 事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業の場合は、施設名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、要綱等	事業の成果、目標 指標名	単位	H25実績	H26実績	H27目標	H28目標	H29目標	H30目標	各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案 【 単位 ： 千円 】 名称		H25決算	H26決算	H27予算	H28予算案	H29予算案	H30予算案	Check 第2期基本計画第3次実施計画期間中（H24～H27）における事業内容の変更・改善等の状況		評価	評価の判断理由、特記事項など （妥当性、有効性、効率性、成果）	Action 今後の事業の方向性 【H28以降】
13	3-②	農業振興特別補助金	観光経済部	農林水産G	S49	H30	ソフト	一般会計	土地改良事業に係る農業者等の経済的負担を軽減することで、土地改良事業の円滑な推進を図ることを目的とする。	H25	農業者	昭和43年以降に実施した土地改良事業（道営農免農道整備事業）に係る受益者負担金相当分を農業者等に補助した。	登別市農業振興特別対策事業補助規則	－	－	－	－	－	－	－	－	国庫支出金								H25以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	道営農免農道整備事業に係る受益者負担金相当分を農業者等に補助することにより、経済的負担の軽減が図られていることから、今後も事業を継続することが相当である。	平成30年度の償還が終了するまで今後も補助を継続していく。
																						道支出金													
										H26	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり									地方債								H26	上記のとおり				
														－	－	－	－	－	－	－	－	その他													
										H27	上記のとおり	上記のとおり実施予定	上記のとおり									一般財源		1,217	1,217	1,099	1,099	741	204	H27	上記のとおり				
		32132001																				合 計		1,217	1,217	1,099	1,099	741	204						
14	3-②	農業用施設管理経費	観光経済部	農林水産G	－	－	ソフト	一般会計	農業用施設を適切に維持管理することで、農業者や地域住民の生活環境の改善、農業基盤の充実を図ることを目的とする。	H25	農業者	札内高原館や市牧場等の農業用施設や農業用通路の補修等を行った。 【事業内容】 ○農業用施設修繕　２箇所 ○農業用通路修繕　３箇所		修繕箇所数	箇所	5	3	4	4	4	4	国庫支出金								H25以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	農業者や地域住民の良好な生活環境の整備が図られ、農業基盤がより充実すると考えられるため、今後も事業を継続することが相当である。	今後も、農業者の経営基盤の充実や地域住民の生活環境の改善を目指していく。
																						道支出金	海岸保全区域点検整備事業費委託金・海岸保全施設整備事業監督等補助業務委託金	166	128	127	127	127	127						
										H26	上記のとおり	上記のとおり 【事業内容】 ○排水補修　　１箇所 ○農業用通路修繕　２箇所										地方債								H26	上記のとおり				
														－	－	－	－	－	－	－	－	その他													
										H27	上記のとおり	上記のとおり実施予定										一般財源		458	418	696	696	696	696	H27	上記のとおり				
		32132002																				合 計		624	546	823	823	823	823						
15	3-②	市牧場管理事業	観光経済部	農林水産G	－	－	ソフト	一般会計	市内酪農家の育成牛を受託することで、乳牛の飼養管理、酪農家の労働の省力化を図り、もって乳牛品質の向上及び酪農家の生活環境の改善を図ることを目的とする。	H25	伊達市農業協同組合	指定管理制度により、市牧場（鉱山町）の草地の維持管理などを行うとともに、草地不足の酪農家の育成牛などの受け入れを行った。 【事業内容】 草地維持管理事業、家畜防疫事業、預託牛飼育管理事業 【指定管理期間】 平成23年４月１日～平成28年３月31日	登別市牧場管理条例、登別市牧場管理条例施行規則、登別市牧場施設の管理に関する協定書	放牧延頭数	頭数	6,462	6,318	6,500	6,500	6,500	6,500	国庫支出金								H25以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	市内酪農家の育成牛の受託によって、乳牛の飼養管理、酪農家の労働の省力化を図られていることから、今後も事業を継続することが相当である。	今後も市牧場の利用拡大を推進し、ゆとりある畜産経営の確立を目指していく。
																						道支出金													
										H26	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり									地方債								H26	上記のとおり				
														－	－	－	－	－	－	－	－	その他													
										H27	上記のとおり	上記のとおり実施予定	上記のとおり									一般財源		1,415	1,406	1,456	1,456	1,456	1,456	H27	上記のとおり				
		32132003																				合 計		1,415	1,406	1,456	1,456	1,456	1,456						
16	3-②	登別市農業経営基盤強化資金利子助成事業	観光経済部	農林水産G	H23	H28	ソフト	一般会計	設備投資等に要する借入に係る金利の一部を助成することにより、農業者の経済的負担を軽減し、農業経営の安定化を図ることを目的とする。	H25	認定農業者	農業経営基盤強化資金を利用する農業者の利子の一部を助成した。	農業経営基盤強化資金利子助成金等交付事業実施要綱、北海道農業経営基盤強化資金利子補給費補助金交付事業実施要綱、登別市農業経営基盤強化資金利子助成金交付要綱	助成対象者	人	1	1	1	1			国庫支出金								H25以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	利子の一部助成により実質金利が引き下げられ、認定農業者の経済的負担が軽減されていることから、今後も事業を継続することが相当である。	今後も、農業者が借り受ける農業経営基盤強化資金の利子の一部助成を継続していく。
																						道支出金	農業経営基盤強化資金利子補給費補助金	22	22	20	20								
										H26	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり									地方債								H26	上記のとおり				
														－	－	－	－	－	－	－	－	その他													
										H27	上記のとおり	上記のとおり実施予定	上記のとおり									一般財源		23	23	21	21			H27	上記のとおり				
		32132004																				合 計		45	45	41	41	0	0						
17	4-②	地場水産物消費拡大（登別漁港まつり）事業補助金	観光経済部	農林水産G	S52	－	ソフト	一般会計	いぶり中央漁業協同組合が行う地場水産物のＰＲ事業等を支援することにより、地場水産物の消費拡大や地産地消の推進を図ることを目的とする。	H25	いぶり中央漁業協同組合	登別漁港まつりにおいて、いぶり中央漁業協同組合が登別漁港産水産物の消費拡大やＰＲのため実施している「朝揚げ鮭の抽選即売会」に要する経費の一部を補助した。	登別市水産業振興対策事業補助規則	漁港まつり来場者数	人	30,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	国庫支出金								H25以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	「登別・白老（虎杖浜）地域マリンビジョン」の重要な取り組みの一つである登別漁港まつりにおいて、本事業を実施することにより、登別漁港産水産物の良さを認識してもらい、消費拡大や地産地消が図られることから、今後も事業を継続することが相当である。	引き続き、いぶり中央漁業協同組合が行う「朝揚げ鮭の抽選即売会」を支援する。
																						道支出金													
										H26	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり									地方債								H26	上記のとおり				
														－	－	－	－	－	－	－	－	その他													
										H27	上記のとおり	上記のとおり実施予定	上記のとおり									一般財源		300	300	300	300	300	300	H27	上記のとおり				
		32142002																				合 計		300	300	300	300	300	300						

NO	施策	事業名【事務事業コード】	部名及びグループ名		開始年度	終了年度	事業区分	会計種別	Plan ・ Do 事業概要 事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業の場合は、施設名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、要綱等	事業の成果、目標 指標名	単位	H25 実績	H26 実績	H27 目標	H28 目標	H29 目標	H30 目標	各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案 【 単位 ： 千円 】 名称	H25 決算	H26 決算	H27 予算	H28 予算案	H29 予算案	H30 予算案	Check 第2期基本計画第3次実施計画期間中（H24～H27）における事業内容の変更・改善等の状況		評価	評価の判断理由、特記事項など（妥当性、有効性、効率性、成果）	Action 今後の事業の方向性【H28以降】
18	5-①	漁業専門員設置補助金	観光経済部	農林水産G	H17	H26	ソフト	一般会計	地域海洋特性に適した「新しい資源づくり」や「つくり育てる漁業」を推進することにより、漁業経営の安定を図ることを目的とする。	H25	いぶり中央漁業協同組合	いぶり中央漁業協同組合が行う漁業専門員の配置事業に要する経費の一部を補助した。 【補助事業の内容】 ・漁業専門員 １名（白老町役場に配置） ・専門員の活動 ホッキ貝等の資源管理、ホッキ漁場の環境改善、ウニの資源管理と増殖、マツカワ種魚の放流、エゾアワビの試験放流等	登別市水産業振興対策事業補助規則	－	－	－	－	－	－	－	－	国庫支出金								H25以前	事業開始当初から10年を目途に漁業専門員を採用することとし、これまでの活動で一定の成果が得られたことから、当初の予定通り平成26年度をもって事業を終了することとした。	終了	事業開始当初から10年を目途に漁業専門員を採用することとしており、これまでの活動で一定の成果が得られたことから、当初の予定通り平成26年度をもって事業を終了した。	平成26年度で事業終了
																						道支出金											
										H26	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり									地方債								H26	上記のとおり		
														－	－	－	－	－	－	－	－	その他											
										H27	－	－	－									一般財源		1,000	1,000					H27	－		
		32151002																				合 計		1,000	1,000	0	0	0	0				
19	5-①	沿岸漁業構造改善事業補助金	観光経済部	農林水産G	H18	H27	ソフト	一般会計	いぶり中央漁業協同組合が行う沿岸漁業の生産基盤の整備や開発、経営近代化施設の導入を支援することにより、沿岸漁業の構造改善を促進し、もって沿岸漁業の発展を図ることを目的とする。	H25	いぶり中央漁業協同組合	平成18年度にいぶり中央漁業協同組合が実施した衛生管理型荷捌施設（製氷・貯氷・冷蔵施設併設）の建設等に要する経費の一部を補助した（10年間の債務負担行為を設定することにより年割で補助）。	登別市沿岸漁業構造改善対策事業補助規則	－	－	－	－	－	－	－	－	国庫支出金								H25以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	終了	この補助金は、「登別市沿岸漁業構造改善対策事業（荷捌所併設製氷・貯氷・冷蔵施設建設及び水道管敷設工事）補助金交付決定通知書」に基づき、10年間の補助を行うものであり、平成27年度が補助最終年度に当たることから、当初の予定通り平成27年度をもって事業を終了する。	平成27年度で事業終了。
																						道支出金											
										H26	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり									地方債								H26	上記のとおり		
														－	－	－	－	－	－	－	－	その他											
										H27	上記のとおり	上記のとおり実施予定	上記のとおり									一般財源		6,995	6,995	6,995				H27	上記のとおり		
		32151003																				合 計		6,995	6,995	6,995	0	0	0				
20	5-①	エゾアワビ種苗放流事業補助金	観光経済部	農林水産G	H23	H27	ソフト	一般会計	いぶり中央漁業協同組合が行うエゾアワビの種苗放流を支援することにより、「つくり育てる漁業」や「新しい資源づくり」を推進することを目的とする。	H25	いぶり中央漁業協同組合	試験的にエゾアワビの人工種苗を当市海域に放流し、生息環境や放流後の成長等を調査し、増殖の可能性について調査を行ういぶり中央漁業協同組合に対し、事業費の一部を補助した。 【事業実績】 北海道栽培漁業振興公社熊石事業所で生産されたエゾアワビの人工種苗を１万個購入し、当市海域の適地に放流した。	登別市水産業振興対策事業補助規則	放流後の追跡調査回数	回	1	1	1				国庫支出金								H25以前	追跡調査では残存個数の把握は困難であり、実際に漁獲してみなければ採算性の判断ができないため、一定程度判断が可能となる平成27年度（平成26年度と平成27年度の漁獲量・漁獲高の推移から判断）まで支援を継続することとした。	終了	平成26年度の試験操業を経て、平成27年度から漁獲が開始されたが、実際の漁獲量はわずかであり、採算性があると判断される数量の水揚げは難しいとのことから、平成27年度をもって事業を終了する。	平成27年度で事業終了。
																						道支出金											
										H26	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり									地方債								H26	上記のとおり		
														－	－	－	－	－	－	－	－	その他											
										H27	上記のとおり	上記のとおり実施	上記のとおり									一般財源		315	324	324				H27	上記のとおり		
		32151004																				合 計		315	324	324	0	0	0				
21	5-①	ホッキ空貝処分事業補助金	観光経済部	農林水産G	H25	H27	ソフト	一般会計	いぶり中央漁業協同組合が行う漁場整備の取り組みを支援することにより、「資源管理型漁業」を推進することを目的とする。	H25	いぶり中央漁業協同組合	いぶり中央漁業協同組合に対して、ホッキ貝の漁場に高密度で分布するホッキ空貝（死殻）の処分に要する経費の一部を補助した。	登別市水産業振興対策事業補助規則	ホッキ空貝処分量	トン	49	34	50	－	－	－	国庫支出金								H25以前	いぶり中央漁業協同組合が、民間の補助金（公益社団法人全国豊かな海づくり推進協会助成金）を活用し、事業費の縮減を図った。	終了	事業開始当初より平成27年度までの事業であったことから、平成27年度をもって事業終了することが妥当である。	平成27年度で事業終了。
																						道支出金											
										H26	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり									地方債								H26	上記のとおり		
														－	－	－	－	－	－	－	－	その他											
										H27	上記のとおり	上記のとおり実施中	上記のとおり									一般財源		46	1	208				H27	上記のとおり		
		32151007																				合 計		46	1	208	0	0	0				
22	5-②	登別救難所運営事業補助金	観光経済部	農林水産G	S46	－	ソフト	一般会計	登別救難所の活動を支援することにより、安全な漁業活動の推進を図ることを目的とする。	H25	登別救難所	海難事故の防止啓発や海難事故発生時の救助活動を行う登別救難所に対して、運営に要する経費の一部を補助した。 【活動実績】 各種会議、三救難所合同夏季演習、定期訓練、海難防止パレード、海難事故時の救助活動等	登別市水産業振興対策事業補助規則	夏季演習、定期訓練等開催回数	回	2	2	2	2	2	2	国庫支出金								H25以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	海難事故における救助活動は、従来の漁船の海難事故に加え、要請に応じて市民等によるレジャー型の海難事故にも協力している。 海上での救助活動は一刻を争うものであり、登別救難所は大変重要な役割を担っていることから、今後も事業を継続することが相当である。	近年、本市海域では、漁船による海難事故だけではなく、レジャー型の海難事故も多数発生している。 訓練による技術の向上を図るため、引き続き登別救難所の活動を支援する。
																						道支出金											
										H26	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり									地方債								H26	上記のとおり		
														漁船海難防止パレード開催回数	回	1	1	1	1	1	1	その他											
										H27	上記のとおり	上記のとおり実施中	上記のとおり									一般財源		250	250	250	250	250	250	H27	上記のとおり		
		32152001																				合 計		250	250	250	250	250	250				

NO	施策	事業名【事務事業コード】	部名及びグループ名		開始年度	終了年度	事業区分	会計種別	Plan ・ Do																				Check			Action
									事業概要				事業の成果、目標								各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案 【 単位 ： 千円 】										第2期基本計画第3次実施計画期間中（H24～H27）における事業内容の変更・改善等の状況		評価	評価の判断理由、特記事項など（妥当性、有効性、効率性、成果）	今後の事業の方向性【H28以降】
									事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業の場合は、施設名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、要綱等	指標名	単位	H25 実績	H26 実績	H27 目標	H28 目標	H29 目標	H30 目標	名称		H25 決算	H26 決算	H27 予算	H28 予算案	H29 予算案	H30 予算案						
23	5-②	漁業近代化資金利子補給金	観光経済部	農林水産G	S55	ー	ソフト	一般会計	漁船の購入等に係る漁業者の経済的負担を軽減することにより、漁業資本装備の近代化を促進することを目的とする。	H25	いぶり中央漁業協同組合	漁業近代化資金融通法に基づく漁業者等の漁業資本装備資金を融資した金融機関に対して、借入金利子の１％を補給した。 【事業実績】 利子補給額　493,980円 （内訳）上期利子補給額　250,760円 下期利子補給額　243,220円	漁業近代化資金融通法、登別市漁業近代化資金利子補給条例、登別市漁業近代化資金利子補給条例施行規則	利子軽減額（利子補給金額）	千円	494	416	526	526	526	526	国庫支出金								H25 以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	漁業近代化資金融通法に基づく漁業者等の漁業資本装備資金を融資した金融機関に対して、市が利子補給することにより、借入者の負担を軽減し、漁業経営の近代化の促進が図られることから、今後も事業を継続することが相当である。	引き続き、いぶり中央漁業協同組合を通じた本融資制度の周知に努める。
																					道支出金														
										H26	上記のとおり	漁業近代化資金融通法に基づく漁業者等の漁業資本装備資金を融資した金融機関に対し利子補給を行った。 【事業実績】 （補給率）　年1.0％を上限 （補給実績）　９件	上記のとおり								地方債									H26	上記のとおり				
														利子補給を受けた人数	人	11	9	20	20	20	20	その他														
										H27	上記のとおり	上記のとおり実施予定	上記のとおり								一般財源		494	416	526	526	526	526							
		32152003																			合　計		494	416	526	526	526	526							
24	5-③	登別漁港維持管理事業補助金	観光経済部	農林水産G	S44	ー	ソフト	一般会計	漁港の適切な維持管理を行うことにより、快適で安全な漁業活動の場や地域住民の交流の場を確保することを目的とする。	H25	いぶり中央漁業協同組合	いぶり中央漁業協同組合に対して、登別漁港の軽易な維持管理に要する費用と港内照明灯電気料の一部を補助した。 【事業実績】 照明灯電気代、清掃活動、除雪等	登別市水産業振興対策事業補助規則	漁港受護活動回数（漁港清掃・花壇整備等）	回	5	3	6	6	6	6	国庫支出金								H25 以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	漁港は水産物の陸揚げ・流通の拠点であるとともに、海洋性レクリエーションの場として、漁業者をはじめ、地域住民等が利用する地域社会の核としての役割を担っている。 漁港の維持管理及び環境整備の実施により、快適で安全な漁業活動の場や地域住民の交流の場、憩いの場を確保することに繋がることから、今後も事業を継続することが相当である。	引き続き漁港の維持管理状況の把握に努め、関係機関と連絡調整を行う。
																					道支出金	北海道権限委譲事務交付金	268	276	280	280	280	280							
										H26	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり								地方債														
														漁港を利用した都市交流回数（朝市・夕市・漁港まつり）	回	4	4	4	4	4	4	その他														
										H27	上記のとおり	上記のとおり実施予定	上記のとおり								一般財源														
		32153001																			合　計		268	276	280	280	280	280							
25	5-③	鷲別漁港維持管理事業補助金	観光経済部	農林水産G	H11	ー	ソフト	一般会計	漁港の適切な維持管理を行うことにより、快適で安全な漁業活動の場や地域住民の交流の場を確保することを目的とする。	H25	いぶり中央漁業協同組合	いぶり中央漁業協同組合に対して、鷲別漁港内の照明灯電気料の一部を補助した。 【事業実績】 照明灯電気代	登別市水産業振興対策事業補助規則	年間の漁港受護活動回数（漁港清掃）	回	2	1	2	2	2	2	国庫支出金								H25 以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	漁港は水産物の陸揚げ・流通の拠点であるとともに、海洋性レクリエーションの場として、漁業者をはじめ、地域住民等が利用する地域社会の核としての役割を担っている。 漁港の維持管理及び環境整備の実施により、快適で安全な漁業活動の場や地域住民の交流の場、憩いの場を確保することに繋がることから、今後も事業を継続することが相当である。	引き続き漁港の維持管理状況の把握に努め、関係機関と連絡調整を行う。
																					道支出金	北海道権限委譲事務交付金	41	41	41	41	41	41							
										H26	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり								地方債														
																					その他														
										H27	上記のとおり	上記のとおり実施予定	上記のとおり	漁業者以外のふれあいの場としての漁港利用者数（釣り人など）	人	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	一般財源		60	38	76	76	76	76							
		32153002																			合　計		101	79	117	117	117	117							